

えのき通信



令和5年10月12日(木)
武蔵村山市立第九小学校
校長 吉成 かおる
特別支援教室「えのき」

保護者懇談会

9月5日(火)、支援教室卒業生の保護者をゲストにお迎えして開催した保護者懇談会では、子供との向き合い方、親としての心情、その後の進路のこと、親子の成長について新たな気付きを得る貴重な機会になりました。



【ゲストパネラーからのお話（ポイントを抜粋）】

○子供自身が意思をもって「やる」と決めたことは、力強く進める。親としては、そこに寄り添って支えていくことで良い。

○様々な場面でうまくいかなかったり、時にはショックを受けたりもするが、子どもを信じて諦めないこと、一緒に楽しむことが大事。またそのように切り替えていくことで見方・考え方が変わり、前向きにチャレンジすることができた。

○一人で抱え込まないで、誰かとつながること。近くには同じ、あるいは似ている困り感を抱えている保護者がいるはず。助けを求めていくほうが、「世界」が広がってよい。

○子供の成長とともに、親も成長できる。今まで経験してこられなかったことが、子供を通して経験できることが「楽しい」。

○親としての心配事は尽きない。成長とともにその中身や程度も変わってくる。だからこそ一緒に、うまく関わっていくことが大事。学校ともつながりながら、抱え込まずに。

お二方とも、経験されたことを明るく、力強く語られる姿が非常に印象的で、会場全体が温かくなっていくパネルディスカッションでした。参加された他校の先生からも「校内の先生全員に聞かせたい内容ですね。全てメモに残しました。」とお声をいただき、それだけ実体験のお話は心に響くものだったとあらためて感じる事ができました。

裏面には、「参加者」からのアンケートを載せております。こちらも御参考にお読みください。

【事後アンケートから（一部を掲載・抜粋）】

☆経験された話を聞き、とても参考になり、これからの子供の成長が楽しみに思えました。不安な気持ちもまだ少しありますが、時には周りの人に相談しながら、子供と向き合っていきたいと感じました。

☆私自身、子供のためにどのような親でありたいか考えることができました。

☆先輩ママお二人の体験談を聞いて大変参考になりました。お二人とも話されていた「子供が楽しいのが1番」がとても印象に残りました。私も子育てに悩んだり、迷ったりした時はこの言葉を思い出して、子供たちと進路を決めていきたいと思いました。

☆グループディスカッションでは、みなさん悩みながら子育てされていること、年齢によってまた違った悩みが出ることなど勉強になり、先輩ママからの違った方向からのアドバイスも参考になりました。

この他にも様々なお声を寄せていただきました。共通していただいたのは「もっと聞きたい」「もっと掘り下げて話したい」という感想でした。今回はトライアルの意味も込めて1時間という設定でしたが、このような御意見をいただけたのは、予想していなかったので、「うれしい反省点」となりました。当日参加してくださった皆様、開催に当たって御理解・御協力してくださった管理職、その他教職員の皆様のおかげです。本当にありがとうございました。



私たち巡回指導教員も、この懇談会を通して様々な面においてあらためて気付かされたことが多くあり、日々積み重ねてきたことの意味について深く知る機会となりました。

また、九小拠点の支援教室が開室して6年目ですが、これからも通室して利用される方、中学・高校、その先へと進路を進める先輩が出てきます。このような機会をきっかけにしながら「人と人のつながり」も生まれていくと素晴らしいなと感じました。「一人で抱え込まないで誰かとつながる」一支援教室もその役割を担い続けていきたいと強く感じました。

皆様の感想を参考にしながら、今後も、このような懇談会を計画していきます。引き続き御理解と御協力のほど、よろしくお願いいたします。